

CVIT 日本心血管インターベンション治療学会誌

投稿ならびに執筆規程

2009 年 4 月末日

投稿規程

1. 募集論文の内容

心血管インターベンション診断治療領域の発展に貢献しうるオリジナリティに富んだ論文を歓迎いたします。日本心血管インターベンション治療学会で発表された論文のほか、直接本誌への投稿も募集いたします。国内・国外を問わず、他紙に掲載されたもの、あるいは掲載予定のものは投稿の対象となりません。

2. 執筆者について

筆頭著者および共著者（コメディカルスタッフを除く）は原則として会員に限ります。

3. 論文の審査

投稿論文の査読は編集委員および編集顧問が行います。審査上必要ですので、郵送の場合は、論文・図・表はオリジナル 1 部にコピー 3 部を添えて提出してください（写真はオリジナル 4 部）。

審査の結果、編集方針に従って原稿の加筆、削除および一部分の書き直しなどをお願いすることがあります。また編集委員長の責任において多少字句の修正をすることがありますのであらかじめご了承ください。

4. 倫理性とインフォームド・コンセントについて

①人を対象にした臨床研究（予後調査のための個人情報登録も含む。ただし、疫学的研究に関しては厚生労働省指針に準ずる）では、被験者からの文書による同意取得、研究者の所属機関の倫理委員会の承認を得たことを必ず明記してください。症例記述の場合は匿名性を十分に配慮してください。ヘルシンキ宣言（2002 年、Washington）を参照してください。

②研究の一部あるいは全部が、公的あるいは私的機関より支援（科学研究費、委託費、協賛費、後援費など）を受けて行われた場合には、その旨、資金提供を受けた機関名などを明記してください。

5. 論文の種類と長さ

論文の種類は「研究」、「症例」および「コメディカル」とし、長さは下記の通りとします。

研究……30 枚 症例……20 枚 コメディカル……20 枚

〔400 字詰原稿用紙を使用の場合、英文抄録、文献、図、表、図説含む〕

①図・表は刷り上りで 1/5 ページ、あるいは縦 8.5×横 8 cm が原稿用紙 1 枚（400 字）に相当します。

②規定枚数を超過した論文は原則として採用いたしません。ただし、編集委員が超過を認めた場合に限り、規定を超える部分の印刷実費を著者の負担のうえ、掲載することがあります。

6. 著作権・出版権について

本誌に掲載された論文（写真・図・表含む）の著作権および出版権は、日本心血管インターベンション治療学会 学会誌編集委員会に帰属し、そのまましくは修正を加えた引用、転載には事前承諾が必要ですのであらかじめご承知ください。

7. 掲載済み原稿について

掲載済み原稿は原則として返却いたしません。写真、図などで返却を要するものは、連絡票にその旨明記してください。

執筆規定

1. 原稿の体裁

①原稿用紙、図・表の用紙の大きさはすべて A4 判（学会誌と同じ大きさ）を使用してください。

②写真を貼る台紙は A4 判を使用し、組写真の場合は A4 判の用紙に適宜貼り、各台紙に図番号を明記してください（厚さは原稿用紙と同じもので可）。

③パソコンおよびワープロ原稿の場合は、20 字×20 行、行間を 10 mm 以上あけて印字してください。

④欧文文字は、大きさは 12 ポイントで、半角文字を使用してください。

2. 連絡票・投稿承諾書

①本誌掲載の「連絡票」に、必要事項を記入のうえ提出してください。

②「投稿承諾書」に共著者全員が署名のうえ、添付してください。

3. 記述・用語について

- ①科学論文として簡潔明瞭にまとめてください。文体は口語体(である調)とし、です・ます調および会話体は用いないでください。本文はできるだけ日本語で表記してください。また時制の一致を常に心がけてください。
- ②学術用語：日本循環器学会制定の「循環器学用語集」(第2版)、日本内科学会制定の「内科学用語集」(第4版)に従ってください。薬剤名は慣用されるものは一般名・カタカナ表記、他は一般名・英語表記としてください。
- ③略語：原則的に用いないでください。やむをえず使用する際は、文中で頻回に用いられる述語で、慣習的に略語として普遍的に用いられるもののみとし、その語が用いられる初出の箇所での内容を明記してください。

4. 論文の構成について

- ①表題頁：題名、著者名、所属機関と住所は和文と英文を併記してください。また Key words を英文で3語つけてください。題名は内容を表す適切なものをつけてください。
- ②和文・英文抄録：論文の要旨を、和文は400字以内に、英文は研究250 Words、症例150 Words以内にまとめてください。英文に関しては行間を10 mm以上あけてタイプし、研究には conclusion (s) として最後に結論を入れてください。
- ③論文の形式：研究の場合は、「目的」「方法」「成績」「考察(考案)」「結論」の順に、症例の場合は、「はじめに」「症例」「考察(考案)」「結語」(なくても可)の順に記述してください。
- ④引用文献：本文中の引用箇所の右肩に、引用順に番号を記載してください。また、引用する文献はオリジナルなものとし、抄録、解説論文などの引用はできるかぎり避けてください。
- ⑤文献：表記は原則的に Index Medicus に従い、著者名は筆頭者のみを記載し、下記の形式を守ってください。また、各文献の初頁を、投稿した時点で編集室まで送付してください。

〔雑誌の場合〕

- 1) Herman HC, et al : Percutaneous balloon mitral valvotomy for patients with mitral stenosis. J Thorac Cardiovasc Surg 96 : 33-36, 1998

〔書籍の場合〕

- 2) 延吉正清 : PTCA. 医学書院, 1988, pp10-11
- 3) Harzler GO : PTCA in patients with multiple vessel disease. In : Angioplasty (ed by Jang GD, MacGrawHill, NewYork, 1985, pp321-336)

- ⑥表 : Table 1, 2…のごとくはじめ、題名、内容、図説は英文とし、行間を10 mm以上あけてタイプしてください。図中の略語はフルスペルを表外に明記してください。
- ⑦図説 : Fig. 1, 2…のごとくはじめ、題名、内容、図説は英文とし、行間を10 mm以上あけてタイプしてください。図中の略語はフルスペルを図説に明記してください。
- ⑧写真 : 写真は手札型(13×9 cm)以内の大きさと鮮明なものを用意してください。電顕写真にはバーを入れてください。文字や矢印を記入する場合は、トレーシングペーパーをかけた上に明記するか、パソコンの画像に明示して出力したものを提出してください。なお、原寸大の製版を必要とするものは、その旨を明記してください。(大きさは24×17 cmを限度とします。)
- ⑨カラー印刷 : カラー印刷は、ご希望により掲載いたします。ただし、製版および印刷実費を著者の負担といたします。

なお論文提出時、表題ページ、和文抄録、英文抄録、本文、文献、表、図説の順に揃え、必ず用紙の下中央にページを入れてください。

5. 校正

著者校正は原則として1回行います。

6. 掲載誌と別刷

著者には掲載誌を1部贈呈いたします。別刷がご入用の場合は50部単位で実費作製いたします。著者校正の際、注文票に必要部数を記入のうえお申し込みください。

7. 本誌文献略称

CVIT, Jpn, Ed

8. 原稿送り先

日本心血管インターベンション治療学会 設立準備室
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38 岩田ビル4階